



## 初めての避難勧告 初めての避難所開設



今回の台風19号では、調布市が昭和35年に市制が施行されてから初めての避難勧告となり、約六千名が実際に避難所へ避難することとなりました。

本地区協では、昨年の2月に浸水害対策出前講座を開催したばかりだったので、事前の対策意識も高く、台風上陸前日の11日に役員が緊急に集まり、それら対策の内容をホームページにアップして、注意や情報を収集するよう呼びかけ、状況によつては布田南部自治会館を対策本部として使用することを決定しました。

実際の市からの時系列状況と避難所開設状況は中頁の表の通りですが、午後三時以降は市のホームページが全くつながらない状況になったため、

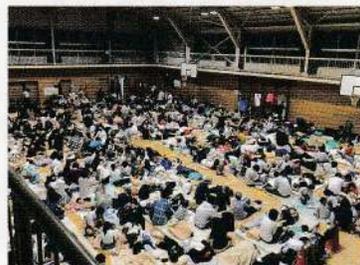
本地区協では、市の協働推進課から避難所開設の最新情報を電話連絡でもらい、それを逐次本地区協ホームページに掲載していきましました。普段一桁台のアクセスユーザー数がこの時は百を超え、伝達手段として役に立ったのではないのでしょうか。

### 【桜丘睦会の対応】

布田小地区は、多くが避難対象地区に入つてお



1m以上冠水した染地の桜堤通り



避難所になった富士見台小体育館

り、特に多摩川に隣接する桜丘睦会（多摩川7丁目、門傳良男会長）では、役員が12日午後四時半ごろ全世帯を回り避難勧告が出たことをそれぞれの世帯に伝えて対応の確認を行った。その結果、30世帯が親戚や子どもの家などへ自主避難、



大きな被害のでた染地地区



水が引いた後の多摩川

自宅に残るといったのが10世帯、さらに10名の独居老人からの避難要望を確認した。午後五時半ごろにはその10名に自治会集会所に集合してもらい、3回に分けて車で避難所にピストン搬送を行った。避難所の富士見台小は満員で入れずグリーンホールに向かったが満員でさらにたづくりへ移動した。午後七時半に10名全員の搬送を完了した。

〔二面に続く〕

## 地域防災・年末防犯パトロール



桜丘睦会の皆さん

〔二面に続く〕

皆さんが愛するこの地域への願いや希望がそこに住む全員の未来への光となるよう、当地区協へのご理解とご協力のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

布田小地区ハッピータウン協議会  
 会長 依田 耕児

「逃げキッド」というその作成講習会に参加して感じたのは、すべての世帯や家族でこれを作るために話し合いを持つことが、防災対策の基礎基本だと感じました。

本地区協では、これの地域での浸透を図り、日ごろからの防災意識の啓蒙をより推し進めていきたいと考えています。

◆「マイ・タイムライン」◆  
 スマホの充電忘れてた、どのカバンで行けばいいか、えっ？長靴はダメ？  
 今回多くの人が自宅から避難所に向かう直前に例えればこのような細かい事に気づき焦りなどを感じたのではないでしようか。

事前に情報を入手するといつても①天気（雨・台風）の情報②河川の情報③避難所の情報とがあり、さらにそれぞれ入手先や手段が違ってきます。また、防災グッズは用意してあったが、避難する際の服装、履物、また豪雨の中を歩くまでは頭の中にイメージしづらいかもしれません。

マイ・タイムラインは、準備や避難に必要なすべてのことを、時系列で整理し、家族全員が同じ行動規律で安全に避難できるような表を作成することです。先日、「逃げキッド」というその作成講習会に参加して感じたのは、すべての世帯や家族でこれを作るために話し合いを持つことが、防災対策の基礎基本だと感じました。

1 経過 10/12(土)

- 15:18 避難勧告発令  
飛田給3丁目、上石原3丁目、多摩川1～7丁目、染地1～3丁目
- 16:00 多摩川水位：5.03m  
(氾濫危険水位の4.9mを上回る)
- 19:00 多摩川水位：6.00m  
(計画高水位：5.94m)
- 22:50 **多摩川水位：6.33m (最高水位)**  
(観測地点：石原水位観測所)  
【参考】平成19年の台風9号  
多摩川最高水位：6.03m
- 23:00 **累計雨量：256mm (調布観測所)**



両手が空く帽子型傘を着けた門傅会長

【自治連協主催の情報交換会】  
年が明けて1月15日(水)たづくりで、自治連協主催の多摩川隣接自治会の情報交換会が開催された。当日参加した多摩川流域15自治会の代表者は、高齢者は風雨の中で坂

これらを通じて両手が開く帽子型傘と防雨服で実際に搬送を行った会長の門傅さんは、「過去に経験のない大変さだった。特に高齢者が風雨の中避難するのは大きな危険を伴い難しい判断が必要だった。」と話してくれました。

- 0:45 災害対策本部での協議
- 0:45 避難勧告一部解除  
飛田給3丁目・上石原3丁目・多摩川1～7丁目
- 2:50 多摩川水位：4.89m (石原水位観測所)  
(氾濫危険水位の4.9mを下回る)
- 5:20 多摩川水位：4.29m (石原水位観測所)



多摩川隣接自治会の情報交換会で発表する布田南部自治会の山本会長

市 市の総合防災安全課危機管理担当の大貫貞夫部長は、市としても過去に経験のない重要事項なので市民の皆さんの意見を参考にしながら、本年

などは上がれない、府中市のように近隣の小中学校を含めて公共施設機関はすべて避難所として開設すべき、やはり早目の判断で避難するのが大事、浸水対象の学校は屋上に防災倉庫を設置すべきなど、約2時間にわたって意見や要望を話し合った。

2 被害状況

- 家屋等  
被害件数：188世帯 (10/31時点)  
【内訳】床上浸水 121世帯  
床下浸水 58世帯  
その他 9世帯
- ※「その他」は雨漏りによる天井裏の浸水など
- ※被害件数は、り災証明書受付後の調査状況に基づくものです。
- ※件数は今後の調査状況により、変動する場合があります。

■自主避難所開設

※避難者数は変更する場合があります。

|             | 開設時刻       | 避難者数 |
|-------------|------------|------|
| 富士見地域福祉センター | 10/12 8:45 | 約60  |
| 深大寺地域福祉センター |            | 約120 |
| 人間地域福祉センター  |            | 約70  |
| 菊野台地域福祉センター |            | 約65  |
| 下石原地域福祉センター |            | 約120 |
| 合計          |            | 約435 |

■避難所開設

|                 | 開設日時        | 避難者数   |
|-----------------|-------------|--------|
| 第三小学校           | 13:00       | 534    |
| 第二小学校           | 13:30       | 1,057  |
| 富士見台小学校         | 15:15       | 910    |
| グリーンホール(大・小)    | 15:15       | 1,731  |
| 国領小学校           | 18:30       | 130    |
| 八雲台小学校          | 18:30       | 86     |
| 滝坂小学校           | 17:30       | 32     |
| 第一小学校           | 17:50       | 127    |
| 調布中学校           | 18:30       | 53     |
| 文化会館たづくりくすのきホール | 18:45       | 150    |
| 石原小学校           | 19:00       | 0      |
| 第三中学校           | 10/13 10:30 | 13     |
| 染地地域福祉センター      | 10/15 17:00 | 2      |
| 合計              |             | 約6,000 |



染友自治会の皆さん(上)  
西友会の皆さんと(中)  
第五分団の皆さんと詰所で(下)

消防団は年末まで毎日パトロールがあり、分団長はその詰所で待機し警戒パトロール

【消防団第五分団】  
年末恒例の地域のパトロールに同行してきました。特に今回は12月28日(土)に西友会(布田四丁目/六丁目)のパトロール中に、同じ地域担当の消防団第五分団の詰所に立ち寄り、布田六丁目在住の山口芳明分団長に少しお聞きしました。

【消防団第五分団】

年末パトロール

【白山宮神社初詣】  
今年ものべ約三百名の参拝者があり、新年の家内安全、無病息災を祈りました。また、今年も強風のため、かがり火を焚かず、電気でお応じました。今年も地域の皆さんのご健勝を願っています。

をする団員の指揮をとるそうです。また分団を卒業した元分団員のシニアの方も毎晩入れ替わりで差し入れや応援のためこの詰所を訪れてくれるそうです。多くの関係者の支えで成り立っています、と話してくれました。

【当地区協の対応】  
普段からの一人一人の意識や具体的な準備が大事なので、調布市と協力しながら「マイトタイムライン」の講習会や説明会を開催し各家庭での浸透を図っていく予定です。



元旦の初詣を実施する布田南部自治会の皆さん

# 地域の活躍人

二十一年間レストラン経営を続けた後、レストランの敷地が東京都の道路整備事業の対象となり、調布に引っ越して来たのと共に、少し自由になる時間を持ちたいと思い、新設の大学で学生食堂の料理長に転じた。その後、府中のわらしこ保育園で、今度は0歳児から5歳までの幼児期の食事の調理を担当。谷合さんの半生は、あらゆる世代の人達においしい食事を提供することに費やされてきた

今回は、ハッピーこども食堂料理長の谷合誠勝さんにお話を聞きました。料理の世界に飛び込んだきっかけは、「調理専門学校を卒業した19歳の時に開催された東京オリンピックの選手村内の富士食堂に調理の実習生として採用されたのが第一歩ですね。柔道のヘーシंक選手やマラソンのアベベ選手と一緒に撮った写真は、良い記念です。」と谷合さん。オリンピックが閉幕した後、横浜のシルクホテルのレストランで五年間の修業を積み、25歳の時には池袋でご自分のレストランを開業した。

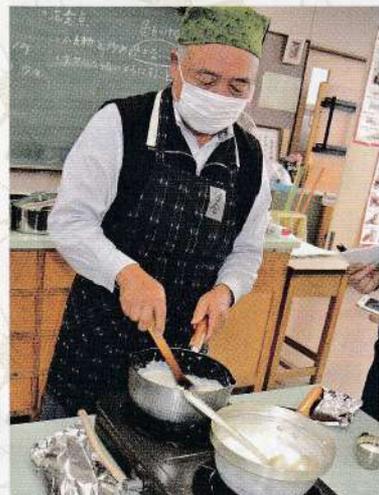
## 谷合 誠勝 さん

(たにあい まさかつ)  
~ 布田5丁目在住 ~



ハッピーこども食堂 料理長  
ハッピーおとな料理教室 講師

取りまでもも考え合わせてメニューを作ること。ある時、谷合さんが一人離れて食事をしていた小学高学年くらいの子に話しかけてみると、将来のことでちよつと悩みがあったようで、思った以上にいろいろな話をする事になった。同じようなことは、大学の学生食堂時代にも頻繁にあっ



手作り自家製ホワイトソースの作り方を実演中

たそうだ。「食」でつながってはいるものの、家族ではない大人だからこそ話しやすいこともあるんじゃないかな、とエピソードを話してくれた。さらに、シルバー人材センターの地区委員や布田南部自治会の役員など、地域コミュニティに高い関心があり、子どもの食育や高齢者の食事など、「食」を起点としたコミュニケーション活動に、積み重ねた自身の特徴を発揮できる、という強い信念を感じた。「続けることの大切さ」、これが谷合さんが話してくれた最も印象的な言葉でした。(文・藤田秀雄)

調布病院

# トリアージ訓練



10月24日(木)に調布病院の行った災害時の防災訓練に傷病者役ボランティアとして地域から10名が参加した。予め渡された首から提げるカードには、それぞれの症状が記載されていて、それに合

わせて病院での受付を行い、処置をするというトリアージ訓練だった。病院は災害時には傷病者の処置が優先で避難所にはならないが、日頃の地域との連携するいい機会なので、ご協力いただきながら続けていきたい、とのこと。



傷病に合わせて受付(左上)訓練に参加した皆さん(下)

ハッピーおとな

# 料理教室

当地区協の新しいこの事業は、布田小に通う若い世代の保護者と地域とのつながりを目的として、7月6日(土)午前中に第1回目が布田小家庭科室で開催された。当日は4名のお母さま方が参加、講



超本格シーフードピラフ(右上)  
高級ホワイトソース(下)

師の谷合先生の実演指導の下、本格的シーフードピラフを作った。年が明けて第2回目(1月11日)は、小麦粉と牛乳から作るホワイトソースがメニューで、最初から作るホワイトソースの滑らかな絶品の味に思わず歓喜の声が上がった。

ハッピー

# こども食堂



台風19号の影響で10月12日に予定されていた第7回が中止となり、同じメニュー内容で12月14日に実施した。暖冬のせいか青空に映えるイチヨウの木葉もまだ美しい中、

90名を超える子どもたちが来場した。キーマカレーは人気メニューのため多めに作ったが、お替りする子どもも多くすべて完食となった。次回は、2月8日、3月14日の予定。



白山宮神社のイチヨウの木(左上)人気メニュー、キーマカレー(下)

# 布田小おやじネット 082



おそろいのTシャツで



おもしろーに参加した皆さん

布田小に通う児童の父親同志のネットワーク「布田小おやじネット」は、今夏も8月19日からの1週間、恒例のラジオ体操を実施した。朝早くから大勢の子どもや近くの住民の皆さんが参加し、元気な姿を見せていた。また、11月30日には、学校校庭にて、飯盒しながらアウトドア活動を体験する「おもしろー飯盒炊飯」が快晴の天気のもと行われた。手づくりバームクーヘン、ソーセージ、カレーライスなど、楽しくおいしくできました。来年も楽しみです！



射的の布田南部自治会の皆さん



初出演、オカリナ演奏

当日は秋の青空に恵まれ、多くの参加者と来場者で賑わった。毎年、射的遊びを出店する布田南部自治会の有志の皆さんは、普段お目にかかれぬ昔あそびの射的で楽しむ子どもたちの対応に大忙しでした。

また、演奏出し物の部では、この地域内のオカリナ演奏の有志グループが初出演。普段の練習の成果を披露、長友調布市長も熱心に聞きいっていた。

主催者の調布市社会福祉協議会は、回を重ねるごとに年々盛況になってくるこの催しを、今後も地域のつながりをつくる一つの場として続けていきたい、とのことでした。

## 布田わくわくひろばまつり 2019年10月27日 ころの健康支援センター

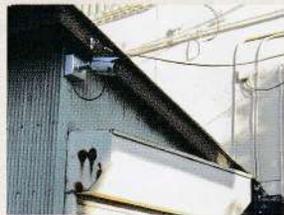


# 地域内の防犯カメラ設置状況



布田南部自治会では、年が改まった1月6日に白山宮神社の東と南の道路に向かって二カ所の防犯カメラを設置した。通学路の安全確保と不審者情報への対策として、調布市の防犯設備整備事業補助金を利用した。業務用にも使用が耐えられる高度なシステムで、いざという際の有効性が高い。当自治会では、「機械だけに頼らず、お互いで声をかけ合うアナログの防犯安全活動も大事にしていきたい」とのことです。

ムで、いざという際の有効性が高い。当自治会では、「機械だけに頼らず、お互いで声をかけ合うアナログの防犯安全活動も大事にしていきたい」とのことです。



システムは自治会館内で作動

## ★ 白山宮神社 (布田南部自治会設置) ★ 布田小周辺 (市教育委員会設置)

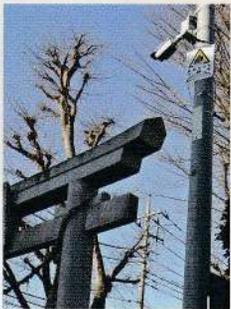
調布市教育委員会では、学校と地域等が連携して行う登下校時の見守り活動を補完するとともに、犯罪等を抑止し、子どもたちが安全・安心に通学することを目的として、平成27年度から市立小学校の通学路を撮影する防犯カメラの整備を進めています。

12月末現在、小学校の通学路(公道上)の電柱に、各校5台ずつ、市内合計100台の防犯カメラが稼働中です。併せて「啓発用巻き看板」

も設置しています。

今後も防犯カメラを整備することで、通学路における児童の安全確保をより一層高めていきます。同時にプライバシーに配慮した適正な管理に努めていこうです。

実際の画像は、各学校内などで見ることはできず、SDカードに記録し、犯罪発生時に市が警察に提供、専用ソフトでのみ再生が可能となるようで、実際に写している画像を一般に見ることはできないそうです。



通りに向かって2カ所にカメラを設置



西正門のカメラ



啓発用巻き看板



3月末までに更に1台が追加設置予定

## 運営委員募集中!

- ★年6回の運営委員会
- ★防災教育の日 避難所訓練
- ★地域の安全安心活動

お近くの上記運営委員にお尋ねください

布田小地区ハッピータウン協議会  
ホームページ

<https://happy-usako.jp>

スマホ対応で見やすくなりました

## はっぴーなきずな

十数年前に子供と遊びに行っていた公園に、すべり台やブランコ等が取り払われ殺風景な公園になっていて、子連れの姿を見つけれませんでした。親子で集まり、自然と友達の輪が広がる場所が減ってしまっていることを知り、人との繋がりの方が減っており寂しさを感じました。(林田紀子)

晩秋から冬型の気圧配置が変わる時、北寄りの強風を木枯らしと言うが、12月15日に都心でも規定値の風速8m/sを超えた。木枯しは11月末までに吹く風なので幻となり、観測史上初の2年連続で木枯し1号がなかった。昨今の自然災害も地球温暖化か!

(新津敏男)